



第30回 アジア数学テクノロジー会議 (ATCM 2025)

投稿募集のお知らせ

日程：2025年12月13日～16日

会場：アテネオ・デ・マニラ大学

フィリピン, ケソン市

(ATENEO DE MANILA UNIVERSITY, Quezon City, Philippines)



Scopus index proceedings*

親愛なる皆様

アテネオ・デ・マニラ大学（フィリピン，ケソン市）を会場として開催される，第30回アジア数学テクノロジー会議（ATCM 2025）（<https://atcm.mathandtech.org/>）において，対面またはオンラインでのご発表を心よりお待ちしております。ATCMは1995年にシンガポールで初めて開催され，以来，毎年世界中から参加者が集まる国際会議として親しまれています。今年も，学びに満ちた有意義で楽しい会議となることを確信しています。ATCM 2025のテーマ：「テクノロジーを活用した数学・科学・教育の新たな高みへの挑戦」です。テクノロジーの進化は，数学や関連分野の教育・学習・研究に多大な影響を与えています。さらに，オープンAIの活用も教育・学習のあり方に変革をもたらすでしょう。本会議では，教室や研究活動におけるテクノロジーの活用経験を，対面またはオンライン形式でご発表いただき，共通な関心をもった参加者と共有していただけます。

* Scopus インデックスに登録された会議録は，研究の価値を高めるうえで重要です。これにより，研究者の業績が評価され，キャリアの発展に大きく影響を与えるため，非常に意義があります。

ATCMを支えてくださったすべての熱心な参加者の皆様に感謝申し上げます。1995年の初回から現在まで、ATCMではすべての電子会議録（プロシーディング）を公開しております。これはすべての会議が達成できることではありません。これらは以下のURLでご覧いただけます。

<https://atcm.mathandtech.org/ElectronicProceedings.htm>

1995年以降、数学の学習や教育、研究にテクノロジーツールを取り入れるには、カリキュラムの評価が必要であり、実現までに長い時間がかかったことは理解しています。しかし、革新や創造性は、単なる反復練習や試験からは生まれなかったことを認識することが大切です。私たちは、多くの方々から年々熱心な支援を受けていることに自信を持ち、次世代のために良い成果を生み出していると確信しています。

ATCM 2024 の成功報告と感謝

ATCM 2024 がハイブリッドモードで大成功を収めたことをお知らせできることを嬉しく思います。多くの旧友と再会し、新しい仲間にも出会えたことを喜んでます。対面およびオンラインで参加されたすべての皆様に感謝申し上げます。ATCM 2024 が再び有益で楽しいイベントとなることに貢献していただきました。2024年12月7日の歓迎ビデオは[ここ](#)でご覧いただけます。2024年12月8日から12月11日までのまとめは、それぞれ[ビデオ1](#)および[ビデオ2](#)でご覧いただけます。また、ATCM 2024の電子版議事録（[プロシーディング](#)）には、多くの査読済みおよびScopusインデックスに登録された論文が掲載されています。さらに、多くの録画されたビデオもこちらのURLでご覧いただけます：<https://atcm.mathandtech.org/EP2024/program.html>

ATCM 2025 の重要な日程： 以下は、ATCM 2025 の投稿関連のスケジュールです。

概要提出期限： 2025年6月30日

論文提出期限： 2025年7月31日

ATCM 2025のために、早めに概要と論文のご準備をお願いいたします。投稿は、すべてオンライン査読システム（<http://conferencereview.com>）を通じて行う必要があります。上記の日程を必ずご確認ください。ATCM 2025の査読論文は、無料でアクセス可能な電子ジャーナル「Mathematics and Technology」（eJMT）に招待掲載されます（<https://php.radford.edu/ejmt/>）。

問い合わせ先：

学術プログラムに関するご質問：Professor Wei-Chi Yang（wyang@radford.edu）

現地運営に関するご質問：Professor Ma. Louise Antonette De Las Penas（mdelaspenas@ateneo.edu）

アジア数学テクノロジー会議 ATCM

会議創設者 Conference Founder

Professor Emeritus Dr. Wei-Chi YANG, Radford University, U.S.A.

国際プログラム共同議長 International Program Co-Chairs

Weng Kin HO, NIE/ Nanyang Technological University, Singapore

Alasdair McANDREW, Victoria University, Australia

国際プログラム委員会 International Program Committee (IPC)

Keng Cheng ANG, NIE/ Nanyang Technological University, Singapore

Yiming CAO Beijing Normal University, China

Jen-Chung CHUAN, National Tsing Hua University, Taiwan

Jean-Jacques DAHAN, Paul Sabatier University Toulouse France

Guillermo DAVILA-RASCON, Universidad de Sonora, Mexico

Ma. Louise Antonette De Las Penas, Ateneo De Manila University, Philippines

Hongguang FU, University of Electronic Science and Technology-Chengdu (UESTC), China

Jonaki GHOSH, University of Delhi, New Delhi, India

Roman Hašek, University of South Bohemia, Czech Republic

Haslinda IBRAHIM, Universiti Utara Malaysia, Malaysia

Hideyo MAKISHITA, SHIBAURA Institute of Technology, Japan

Masami ISODA, University of Tsukuba, Japan

Matthias KAWSKI, Arizona State University, U.S.A.

Mirosław MAJEWSKI, New York Institute of Technology, United Arab Emirates

Krongthong KHAIRIREE, Suan Sunandha Rajabhat University, Thailand

Barry KISSANE, Murdoch University, Australia

Carl LIU, Leshan Vocational and Technical College, China

Douglas MEADE, The University of South Carolina, U.S.A.

Vladimir NODELMAN, Holon Institute of Technology, Israel

Greg N. OATES, University of Tasmania Australia

Vanda SANTOS, University of Aveiro, Portugal

Haitham SOLH, American University in Dubai, United Arab Emirates

Petra SURYNKOVA, Charles University, Czech Republic

Tadashi TAKAHASHI, Konan University, Japan

José Antonio VALLEJO, Universidad Autónoma de San Luis Potosí Mexico

Debbie Marie B. VERZOSA, University of Southern Mindanao, Philippines

Yuan YUAN, National Taichung University of Education, Taiwan